

小中学校における部活動の在り方について

1 小中学校の部活動について

| 区分 | 小学校 | 中学校 |
|------|---|-----------------------------|
| 位置づけ | 学習指導要領に定めがない。 | 学習指導要領において学校教育の一環として記されている。 |
| 現状 | 少子化が進む中、これまでと同様の体制で運営することは難しくなってきた。 教員の働き方改革が求められる中、部活動が長時間勤務の要因の一つとなっている。 | |

※ 中学校の部活動について、国は、令和5年度から令和7年度までの3年間を改革推進期間として位置づけ、部活動の地域移行・地域連携を進めることとした。

2 市立小学校における部活動の現状

(1) 部活動の種類

| 種別 | 部活動名 | 校数 | 種別 | 部活動名 | 校数 |
|------------------------|-----------|-------|-----|---------|----|
| 運動部 | サッカー部 | 8 | 文化部 | ブラスバンド部 | 6 |
| | バスケットボール部 | 8 | | パソコン部 | 2 |
| | バトントワリング部 | 5 | | 英検・漢検部 | 2 |
| | マーチングバンド部 | 1 | | 園芸部 | 4 |
| 部活動への入部割合 (新入部学年のみ) | | 86.7% | | 読み聞かせ部 | 1 |
| | | | | 音楽部 | 1 |
| | | | | フラッグ部 | 1 |

(2) 課題

本市の小学校においても、部活動が教員の長時間勤務の一つの要因となっており、児童と向き合う時間の確保が難しくなっている。

(3) 今後の方針について

小学校の部活動は、「段階的に廃止（案）」を念頭に各学校と協議を進めている。

➡ 令和6年度は新入部員を募らず、新5年生及び新6年生で実施する。令和7年度は、新6年生のみで実施し、令和7年度末をもって廃止とする。

3 市立中学校における部活動の現状

(1) 各校における新入部員の状況

■西枇杷島中学校

| 年度 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 入学者(人) | 154 | 145 | 152 | 155 | 134 |
| 運動部(人) | 102 | 93 | 86 | 83 | 70 |
| 文化部(人) | 45 | 43 | 53 | 55 | 43 |
| 入部者(人) | 147 | 136 | 139 | 138 | 113 |
| 運動部割合 | 66.2% | 64.1% | 56.6% | 53.5% | 52.2% |
| 文化部割合 | 29.2% | 29.7% | 34.9% | 35.5% | 32.1% |
| 全体割合 | 95.5% | 93.8% | 91.4% | 89.0% | 84.3% |

■清洲中学校

| 年度 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 |
|--------|------|----|----|----|-------|
| 入学者(人) | | | | | 235 |
| 運動部(人) | | | | | 153 |
| 文化部(人) | | | | | 63 |
| 入部者(人) | 全入部制 | | | | 216 |
| 運動部割合 | | | | | 65.1% |
| 文化部割合 | | | | | 26.8% |
| 全体割合 | | | | | 91.9% |

■新川中学校

| 年度 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 入学者(人) | 179 | 148 | 174 | 173 | 179 |
| 運動部(人) | 91 | 77 | 93 | 82 | 115 |
| 文化部(人) | 84 | 60 | 57 | 78 | 56 |
| 入部者(人) | 175 | 137 | 150 | 160 | 171 |
| 運動部割合 | 50.8% | 52.0% | 53.4% | 47.4% | 64.2% |
| 文化部割合 | 46.9% | 40.5% | 32.8% | 45.1% | 31.3% |
| 全体割合 | 97.8% | 92.6% | 86.2% | 92.5% | 95.5% |

■春日中学校

| 年度 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 |
|--------|-------|-------|-------|--------|-------|
| 入学者(人) | 75 | 56 | 76 | 73 | 89 |
| 運動部(人) | 51 | 45 | 56 | 54 | 65 |
| 文化部(人) | 23 | 10 | 17 | 19 | 19 |
| 入部者(人) | 74 | 55 | 73 | 73 | 84 |
| 運動部割合 | 68.0% | 80.4% | 73.7% | 74.0% | 73.0% |
| 文化部割合 | 30.7% | 17.9% | 22.4% | 26.0% | 21.3% |
| 全体割合 | 98.7% | 98.2% | 96.1% | 100.0% | 94.4% |

(2) 課題

4校とも、部活動の新規加入者割合は多いことから、スポーツ・文化芸術に親しむニーズは高いことが分かる。このような機会を絶やすことのないよう、教育委員会と学校で、中学校部活動の在り方について検討していかなくてはならない。

4 近隣市教育委員会の状況

| 区分 | 小学校部活動 | 中学校部活動 |
|----------|---|---|
| A市 | 令和元年度末をもって廃止。 | 存続している。 地域移行に向けて、どのような形がよいか検討を始めたところであるが、どう進めてよいか見通しがなかなか持てない状況である。 |
| B市 | 存続している。 段階的に廃止する予定。 | 存続している。 まずは、休日の地域移行に向けて協議中である。 |
| C市 | 令和4年度末をもって廃止。 | 存続している。 モデル的に、2部活(テニス・剣道)について、地域スポーツ団体を受け皿に地域クラブ活動として実施予定。 今後は、地域移行に向けて方針を策定していく予定。 |
| D市 H市 | 廃止を予定。 | 部活動地域移行検討委員会を立ち上げて、地域移行への検討を進めている。 |
| E市 | 平成30年度末をもって廃止。 | 存続している。 地域移行に向けて、中学校教員とヒアリングを実施し、方針を策定していく予定。 |
| F市 | 存続している。 令和5年度から運動部(サッカー・ミニバスケット)を廃止。文化部の金管バンド部は検討中。運動部の廃止に伴い、代替事業として「放課後スポーツ教室」(市委託事業)を開室。 | 存続している。 地域移行に向けて、方針を策定していく予定。 |
| G市 | 平成14年度から徐々に地域移行し、現在は2校のみ。そのうち1校も令和5年度に廃部予定。 | 庁内で具体的な方向性について検討をしつつ、令和6年度から部活動指導員や外部指導員の配置を拡大し、地域人材の活用を進めていく。 |

5 中学校部活動における市教育委員会の考え

部活動指導員の確保や、地域移行・地域連携の受け皿となる団体や民間企業は少なく、既存の全部活動に対応することが難しいなど、検討課題は多くあるが、生徒に対しては、スポーツ・文化芸術に親しむ機会を絶やすことなく提供し続けなければならないと強く感じている。教育部のみではなく、市全体として横断的に協議を重ね、地域移行につなげていきたい。

また、教員の勤務状況についても変化が生まれてくるため、生徒と向き合う時間の確保とともに、必然的に不登校対策にもつながっていくと考える。